

2025年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業

市南ブロック
ぐり～ん2訪問看護ステーション 潮崎理恵

目標

- 1、多職種向けACP研修を成功させ、地域での定着を促進する
- 2、新規設立の訪問看護ステーションが多いが訪問看護師の質の維持・向上を図り在宅看取りができる訪問看護師を地域で育てる
- 3、地域の専門・認定看護師との連携、コンサルテーション事業の周知と活用ができる

研修事業①

ACP「人生会議支援実践人材育成事業研修」

開催日：7月21日（土）
場所：阪和記念病院講堂
目標人数：50名
参加人数：60名

【訪問看護師だけでなく、訪問介護士・ケアマネジャー・病棟看護師等、多職種が参加し
ロールプレイを通じて、お互いの気持ちになる。そして自身のコミュニケーション能力を知ることができたという声が多かったです。
これから、地域での在宅看取りも更に多くなることも踏まえて、ACPの実践ができる人材育成は引き続き必要なことと感じました。】

2025年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業
令和7年度大阪府人生会議相談対応支援事業
一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会
市南ブロック教育ステーション
ぐりーん2訪問看護ステーション

人生会議（ACP）の実践に必要な基本的な概念や知識・方法がわかる

人生会議 支援実践人材 育成研修

参加費
無料

2025年7月12日（土）
13:30～16:50（受付開始13:00）
会場：医療法人錦秀会 阪和記念病院 5階講堂

地域の医療や介護、福祉を支えている皆様
認知症や一人暮らしの方、慢性疾患の方が病状が悪化した時に本人の意思が確認できておらず困った経験が
おありではないでしょうか？
今後このような場面が増えてきます。
講義とロールプレイで患者さん利用者さんの価値観に沿ったケアが実践できるように一緒に学びましょう！

【対象者】
ケアマネジャー、ソーシャルワーカー、セラピスト、医師、看護師、看護学生等

阪和記念病院
大阪市住吉区南住吉
3丁目5-8



申し込みは裏面



研修事業②「その人らしい看取り支援 ～家族支援、多職種連携を含めて～」

2025年度大阪府訪問看護ステーション協会教育ステーション事業
大阪市南ブロック

その人らしい看取り支援 ～家族支援、多職種連携を含めて～

看取りの場面で

「本当にこれで良かったのだろうか」そんな
迷いや悩みを抱えることはありませんか？

本研修では、本人の価値観、家族の思い、ケアの
視点を統合し自信を持って看取りができるに
変える学びを目指しています。ぜひご参加下さい。

講師

ハートフリーやすらぎ
常務理事/統括管理者
日本訪問看護認定看護師
協議会代表
大橋 奈美先生

参加対象

医療、介護に
関わる方どなた
でも参加可能

参加費
無料

12月20日(土)

日時 13:30～15:30 (13時受付開始)

場所 医療法人錦秀会阪和記念病院講堂

申し込みQR



お問い合わせ先

ぐり～ん2訪問看護ステーション
TEL:06-6654-8963(担当:潮崎)

→裏面FAX申し込み



講師：大橋奈美氏（訪問看護認定
看護師）
たくさんの事例を通して
在宅での看取り方
関わり方、多職種連携etc

目標人数：40名 参加人数：32名

13：30～14：30 講義

14：30～15：15グループワーク

15：15～まとめ・発表

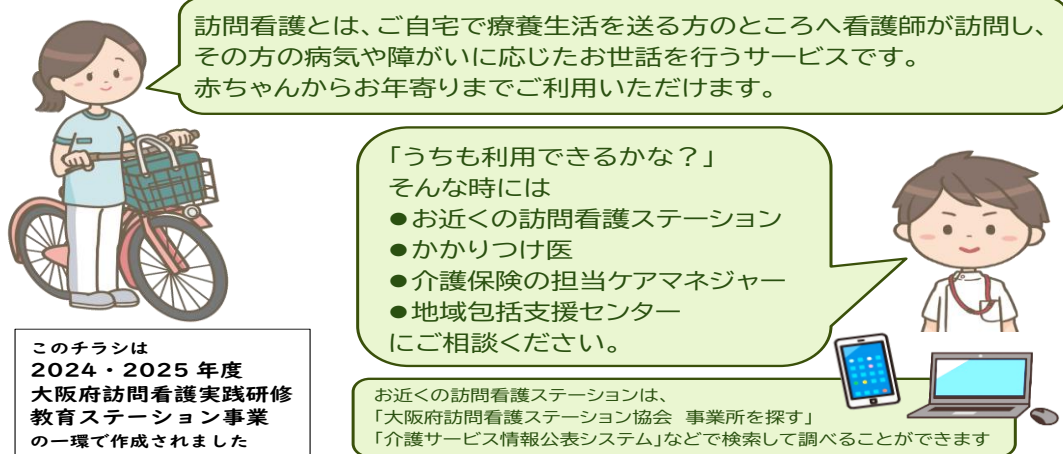
*多職種でのグループワークでお互
いの役割を確認したり、在宅あるあ
るを共有しあい、有意義な場となり
ました。



府民への相談事業



地域課題として、一人暮らしや老老介護の世帯も多い地域
まだまだ訪問看護のことを知らない地域住民も多く、
周知をかねてチラシ作成に至りました。
次回には、健康相談、周知活動を
活発に行えるよう、ブロック全体で
考えていきたい。



訪問看護体験研修事業

【看護業務】

1日のスケジュール

9:00 朝のミーティング参加、
オリエンテーション
10:00 同行訪問
12:00 休憩
13:00 同行訪問
14:00 同行訪問
15:00 訪問看護の概要説明
16:00 終了

目標：5名 実績：3名

(病院看護師、クリニック往診同行看護師、訪問
看護ステーション)

訪問看護業務を体験することで今後の連携に活か
せることができる。訪問看護を目指す方にも
実際を見ることで地域で訪問看護師を増やせるこ
とに直結すると考える。

【管理業務】

一日のスケジュール

8:30 朝の朝礼に参加
9:00 訪問看護の概要説明
10:00 訪問看護にまつわる制度の説明、
訪問看護スケジュール調整の方法説明
12:00 休憩
13:00 営業の考え方
14:00 人材育成について
15:00 質問等
16:00 終了

目標：2名 実績：2名

(新規開設の訪問看護ステーション管理者)

訪問看護の管理者は訪問以外にも、経営としての
視点も必要。質の担保と経営を考える能力を養う
ことが必要と改めて感じた感想にありました。
ブロック内で新規開設も多く今後も必要な取り組
みだと思える。

2025年度大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション「訪問看護体験研修事業」

訪問看護 体験研修の ご案内

この度、ぐり〜ん2訪問看護ステーションでは、2025年度大阪府
の委託を受け市南ブロック教育ステーション事業を行っています。
その一環として訪問看護体験研修を実施しています。
実際に訪問同行したりカンファレンスの見学、管理業務の見学など
を行います。訪問看護に関心のある方、ぜひ一度体験してみませんか？

* 訪問看護体験をしたい
看護師・保健師・助産師
* 訪問看護体験をしたい
高校生・看護学生

* スキルアップをしたい
訪問看護師
* 小児や精神訪問看護を
学びたい方

○体験スケジュール○ オリエンテーション

- 8:30~
- 9:00~11:30 同行訪問2件
- 12:00~13:00 休憩
- 13:00~15:00 同行訪問2件
- 15:00~16:00 振り返り・終了

申し込み・問い合わせ先

ぐり〜ん2訪問看護ステーション (担当：潮崎)

☎ 06-6654-8963 FAX 06-6654-7399

* 申し込み用紙にご記入の上、FAXでお申し込みください



電話・FAX相談Q&A事業

2025年度 大阪府訪問看護実践研修事業教育ステーション「電話相談事業」

看護師、介護や福祉の専門職の皆様へ

相談事業

訪問看護「教育ステーション」による
電話・FAX相談を開設しました！

訪問看護や医療系の 訪問看護の制度
導入教えてほしい について

多職種との連携
教えてほしい

 **相談無料**

ぐり〜ん2訪問看護ステーション（市南ブロック）

相談日	月～金	10時～16時
電話	06-6654-8963（担当：潮崎）	
FAX	06-6654-7399	

「FAX相談用紙」をご使用ください

※ご相談内容は、事業報告書等に記載する場合がございますが、ご相談された方
やご利用者様の個人情報特定できる形で公表することは一切ございません。

＼お問い合わせはこちら／

ぐり〜ん2訪問看護ステーション（担当：潮崎）
〒558-0011
大阪市住吉区茱田5丁目15-18トリアルあびこ201
TEL:06-6654-8963 FAX:06-6654-7399



＜窓口時間＞月曜日～金曜日 10：00～16：00

＜相談担当者＞ 潮崎 理恵

＜広報・相談受付方法＞事業の案内チラシをブロック内の医療
介護事業所に送付した。

相談用紙に記載、電話での聞き取りで受付。返信は後日1～3日
以内に返答。

目標：7件 実績：30件

相談内容：医療保険での介入方法や制度、訪問看護の介入の
仕方、精神ケア2件

加算の確認、BCP策定について

気づき

調べるとすぐに回答が得られる内容も多数あった。新規設立
のステーションからの質問が多かった印象。レセプト請求の
時期になると相談率が格段にアップする。

相談業務が終了していても電話がかかってくるためチラシの
中にも期限や時間を明確にする必要性を感じた。

コンサルテーション事業

2025年度大阪府訪問看護実践研修事業教育ステーション「コンサルテーション事業」

コンサルテーションのご案内

訪問看護師のケアの質の向上を図るため、各分野における専門職が
アドバイスやサポートを行います

＼こんなお悩みありませんか？／

- ✓ 新規開設したばかり、運営・営業・教育について
- ✓ 褥瘡・ストーマ管理・ターミナルケアの方法など
- ✓ 小児訪問看護・精神科訪問看護の困りごとetc・・・

専門のスタッフがさまざまな
疑問にお答えします！
小さな疑問や不安を
なんでも相談してください！



ケアマネさんや専門職の皆さん
いつでもご相談ください

相談無料

相談窓口 <2025年度市南ブロック教育ステーション>

ぐり～ん2訪問看護ステーション（潮崎）

相談日時 月～金 10:00～16:00

申し込み方法 申し込み用紙にご記入の上
FAXでお申し込みください

お申し込み・お問い合わせはこちら

FAX:06-6654-7399 TEL:06-6654-8963

〒558-0011 大阪市住吉区5丁目15-18トリアルあびこ201

①電話サポート

目標2件 実績:2件

新規設立ステーション（スタッフ教育）（利用者獲得のための営業）

②対面サポート

目標:2件 実績:2件

接遇に関する教育の相談、実施
利用者獲得のための営業方法

気づき

新規設立されたステーションが多く、訪問看護未経験での管理者もあり、まず管理者教育が必須ではないかと感じた。市南ブロックはステーション数が多く、新規設立も多い中で、選ばれていくにはどのようにすればいいかと難しい課題もある。

新規設立ステーションで管理者に訪問看護未経験はまず実地研修を1カ月ほどいるのではないかと思います。経験のある教育ステーションへ研修に行くべきではないかと考える。

スタッフの接遇に関しては、注意してもなかなか難しく悩んでおられた。接遇研修など区内での取り組んでいくべきかと考える。

設定した目標の評価

- ▶ 1、多職種向けACP研修を成功させ、地域での定着を促進する
- ▶ ACP研修について参加者は予定より多く、訪問看護師、ケアマネジャー、訪問介護士、病棟看護師など多職種の参加がみられた。皆の関心が高いことがわかった。
- ▶ 今後も地域全体でACP「人生会議」に取り組んでいきたい。
- ▶ 2、新規設立の訪問看護ステーションが多いが訪問看護師の質の維持・向上を図り在宅看取りができる訪問看護師を地域で育てる
- ▶ 新規設立も多いが、閉鎖になる事業所もあり、地域の訪問看護ステーションの質の担保が必要と考える。そのために、認定看護師など地域の資源を活用し質の向上の必要性があると感じた。
- ▶ 3、地域の専門・認定看護師との連携、コンサルテーション事業の周知と活用ができる
- ▶ 2の目標と評価と同様
- ▶ コンサルテーション事業の周知をもう少し幅広く広報できるようにしたい

教育ステーション事業全体の気づき

- ▶ 最近の傾向として、地域の偏りがあり、教育ステーションがある区の参加者は多いがそれ以外の地域からの参加者が少ない傾向にあるのではと感じる。
- ▶ 研修参加の人数が減ってきているその他の原因は広報もFAXでは他の業者宣伝のFAXに紛れるなど効果があまり期待できないのではと考える。
- ▶ 新規開設の事業所も増えるが、訪問看護ステーション協会への加入もせず、実態がみえあい事業所も少なくない。管理者の経歴も訪問看護未経験のまま開設に至っており知識と経験がなく設立することでケアマネジャーやクリニックからの問い合わせも多く。電話FAX相談事業に繋がってはいるが、自身で調べるとわかるような些細なことでも相談がある現実がある。
- ▶ ブロック全体で、訪問看護の質の確保等、在宅医療が担える人材を増やすこと、医療・介護連携ができることを引き続き目指していきたいと考える。